

本校の概要

■主として「知識」に関する問題(A)

- ・「数と計算」「量と測定」「図形」の平均正答率については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ・「数量関係」の平均正答率については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

■主として「活用」に関する問題(B)

- ・「数と計算」「数量関係」の平均正答率については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- ・「量と測定」「図形」の平均正答率については、全国平均に比べ、下回っている。
- ・いずれの領域においても、記述式の問題における無回答が全国平均より多くなっている。

今回の調査における課題

- 加法と乗法の混在した整数と小数の計算をすること。
- 示された条件を基に、適切な式を立てること。
- 示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述すること。
- 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述すること。
- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述すること。

改善の方向

- 問題を解決する過程で、「計算の意味」と「計算の仕方」を関連付けて、計算の能力を身に付けることができるようにする指導の充実。
- 数量の関係を一般化して捉え、言葉や式を用いて表現する指導の充実。
- 図形の構成・分解の活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるようにする指導の充実。
- 異なる量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられることを実感的に理解できるようにする指導の充実。

児童に対する質問紙調査の結果から

全国平均と比べて△高い割合 ▼低い割合

- △ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- △友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。
- △友達と話し合うとき、友達の話最後まで聞くことができる。
- △学校に行くことや友達に会うことが楽しい。また、みんなで何かをやり遂げうれしかったことがある。
- △学校のきまりを守っている。
- △人が困っているときは、進んで助けている。
- ▼授業以外の勉強時間や読書の時間。
- ▼地域の行事やボランティア活動への参加。